

団体名：子どものたまり場「すこやかひろば」運営委員会

活動地域：立川市

助成額：96,894 円、助成回数：5 回

ホームページ：<https://sukoyaka-hiroba.mokuren.ne.jp/>

【当初の目的に対しての結果】

コロナ感染拡大に伴って、利用している公共施設の制限、コロナ感染に対する市民の思いなどもあり、これまで続けていた「食堂形式」の開催から「パントリー形式」での開催にしました。私たちの会の目的は、「子どもや親子に食事と交流の場を提供し、子どもがすこやかに育つ環境を地域の中でつくっていくこと」ですが、一緒に食べるという環境が困難で、そういう意味では直接“食を通して”ということは出来ませんが、パントリーという形になっても継続していることから、少しずつですが地域の中で活動を知ってくれる人、気にかけてくれる人が増えてきています。運営委員のメンバーに民生児童委員の方もいるので、その方の日常活動を通して気になる児童・生徒の紹介もあり、中学2年生の学習支援も取り組みました。

【主催者の感想】

パントリー形式にして、対象者が変わりました。「食堂」の時は、「一人目の子どもで、子育てしている地域のママさんと交流したい」というような「出会い」を求めて参加する家族少なからずいましたが、「パントリー」にしてから、「食材を求めて」参加してくる家族がほとんどになってしまいました。お弁当は、地域の会館にある調理室で作って、フードバンクからいただいたカップ麺、レトルト食品、缶詰などの食材と一緒に配布しています。食材を取りに来た家族分渡していることもあると思いますが、子どもがいる方はほとんど子どもと一緒に来ています。また、都営に住んでいる民生委員の方は、取りに来られない方の部屋まで運んでくれます。来ている方は、リピーターも多いです。困難な方が多いと感じます、また体の具合などで来たくても来られない方もいると感じました。

【支援を受けられた方の声】

他市から来ている6人家族の方がいますが、「平日、時間を指定されても利用できない、日曜日にやっているのも助かる」という

言葉をいただきました。そのご家族は、4人の子どもがいるので、お米も用意してお渡ししています。また、生協の野菜も助かっているとのことでした。

【その他、意見・要望など】

コロナ感染が落ち着いて、「食堂」を再開できるようになった時、パントリーはどうするかということは運営委員でも話題になっています。また、私たちの地域には大学がほとんどありませんが、唯一近くに女子体育大学あります。コロナ感染拡大で、「学生の生活も大変」ということは聞いていますが、今まで学生が来たことがありませんでした。地域の小学校の放課後子ども教室で知り合った学生さんに声をかけ、3月初めて来てくれました。これから少し広がっていけばと思っています。「つながって行く」というのは時間がかかるし、難しいですね。



実施日 : 2022年1月16日(日)
 実施場所 : 羽衣中央会館
 参加 : 13家族・38食配布
 パントリー形式

♡メニュー
 三色どんぶりかぼちゃはろろック+ミニトマト

♡食材支援
 ●東部生協
 野菜たくさん野菜をいただきました。
 ミニトマト・カボチャ・コロックも生協です



●フードバンク立川から、パントリーで配布する食材を調達しました。
 (※6kg、カップ麺40個、レトルト食品40個、缶詰40個、お菓子)



●羽衣中央会館生協
 1kg入りお餅をいただきました。半割ザツ小分けにして配布しました。



●羽衣のパン屋さん「グシーディア」からパンをいただきました。いただいたパンを小分けにしました。




前回・前々回のご献状に因る失敗の教訓を生かし、今回は献状だけで献状の味をまぐいきました。三色どんぶり、トッピングの動物のミンチをそぼろにする人、ほうれん草をゆでる人、いり卵を作る人で分組して進めたので、開始時刻の30分前にお弁当が出来上がりました。

今月も前月引き続き、東部生協さんよりたくさんのお菓子の提供があり、ブルーシートにならべて楽しんでもらいました。

野菜は、14日の金曜日に受け取りに行きましたが、予想より多かったので、同じ羽衣町で食平の支援活動を行っている「さんきゅうハウス」さんに一部届けました。



毎回来てくれるご家族と、今回初めての青年がいました。また、食材の提供を受けている東部生協の担当の方が見学に来られ、スタッフといる話を聞いていました。

♡来月開催のお知らせ

日時 2月20日(日)
 場所 羽衣中央会館
 メニュー チラシ寿司、イマイのフライなど
 ホームページ
 URL <https://sukoyaka-hirobe.mokuren.ne.jp>